

The library news

夢の図書館

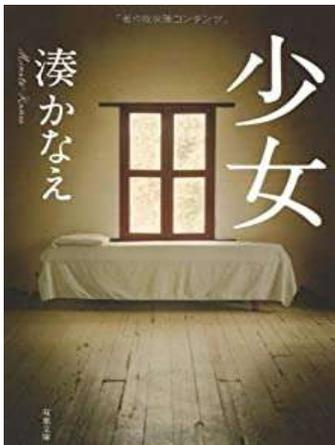


1月号（睦月） （第214号） 2020年1月28日発行

夢野台高校図書委員会編集B

図書委員のおすすめ本

「少女」



湊 かなえ 著

高校2年の少女たちの衝撃的な夏休みを描く長編ミステリー。長編だということさえも忘れてしまうほど、興味をそそられる作品。

読み終わった後は、点と点が一度に繋がったようにスッキリとする作品。

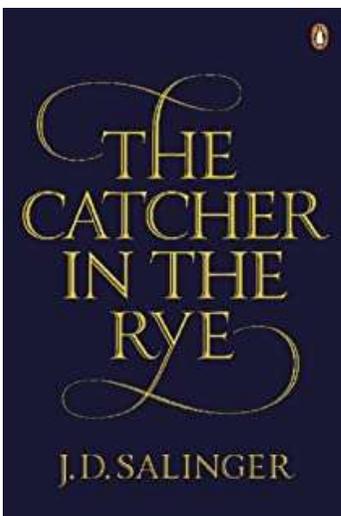
（1年 M.S）

「The Catcher in the Rye」

J.D.サリンジャー 著

今から君に話そうとしているのはただ、去年のクリスマス前後に僕の身に起こったとんでもないドタバタについてだよ。

ペンシルヴァニア州のペンジー高校で寮生活をしていた17歳の少年ホールデン・コールフィードは成績不良で退学処分を受ける。そんな主人公のクリスマス前にニューヨークの街をめぐる物語。



（1年 H.T）



「キネマの神様」

原田 マハ 著

39歳独身の歩は突然会社を辞めるが、折しも趣味は映画とギャンブルという父が倒れ、多額の借金が発覚した。

ある日、父が雑誌「映友」に歩の文章を投稿したのをきっかけに歩は編集部採用され、父の映画ブログをスタートさせることに。

“映画の神様”が壊れかけた家族を救う奇跡の物語。

1年 G.A)



「桜のような僕の恋人」

宇山 佳佑 著

人の何十倍もの早さで年をとる難病を発症した新米美容師の美咲とカメラマン見習いの晴人の切なく哀しいラブストーリー。

読めば必ず涙します。

桜のように儂く美しい恋の物語をこの季節に是非、読んでみてください。

(1年 T.A)



「マスカーレード・ホテル」

東野 圭吾 著

都会で起こる不可解な連続殺人と犯行現場に残されるメッセージ。暗号からは次の犯行はホテル・コルテシア東京。刑事の新田浩介がホテルマンとして多くの人が飛び交う中で彼の教育係である山岸尚美との衝突もありながらも捜査を続けていくと疑わしい客が次々と訪れて…。

(1年 Y.K)